

降誕前第 6 主日礼拝
2021年11月14日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式:中村吉基牧師

奏楽:ヒムプレーヤー

前 奏

招 詞 マルコによる福音書 10:14

イエスは言われた。「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこの
ような者たちのものである」。

讃美歌 208(主なる神よ、夜は去りぬ)

聖書朗読

旧約聖書 列王記上 17:8~16

8 また主の言葉がエリヤに臨んだ。9 「立ってシドンのサレプタに行き、そこに住め。わたしは一人の
やもめに命じて、そこであなたを養わせる。」10 彼は立ってサレプタに行った。町の入り口まで来る
と、一人のやもめが薪を拾っていた。エリヤはやもめに声をかけ、「器に少々水を持って来て、わたし
に飲ませてください」と言った。11 彼女が取りに行こうとすると、エリヤは声をかけ、「パンも一切れ、
手に持って来てください」と言った。12 彼女は答えた。「あなたの神、主は生きておられます。わたし
には焼いたパンなどありません。ただ壺の中に一握りの小麦粉と、瓶の中にわずかな油があるだけ
です。わたしは二本の薪を拾って帰り、わたしとわたしの息子の食べ物を作るところです。わたしたち
は、それを食べてしまえば、あとは死ぬのを待つばかりです。」13 エリヤは言った。「恐れてはなら
ない。帰って、あなたの言ったとおりにしなさい。だが、まずそれでわたしのために小さいパン菓子を作っ
て、わたしに持って来なさい。その後あなたとあなたの息子のために作りなさい。14 なぜならイスラ
エルの神、主はこう言われる。主が地の面に雨を降らせる日まで／壺の粉は尽きることなく／瓶の油
はなくなる。」15 やもめは行って、エリヤの言葉どおりにした。こうして彼女もエリヤも、彼女の家
の者も、幾日も食べ物に事欠かなかった。16 主がエリヤによって告げられた御言葉のとおり、壺の
粉は尽きることなく、瓶の油もなくならなかった。

新約聖書 マルコによる福音書 12:38~44

38 イエスは教えの中でこう言われた。「律法学者に気をつけなさい。彼らは、長い衣をまとって歩き
回ることや、広場で挨拶されること、39 会堂では上席、宴会では上座に座ることを望み、40 また、

やもめの家を食べ物にし、見せかけの長い祈りをする。このような者たちは、人一倍厳しい裁きを受けることになる。」41 イエスは賽銭箱の向かいに座って、群衆がそれに金を入れる様子を見ておられた。大勢の金持ちがたくさん入れていた。42 ところが、一人の貧しいやもめが来て、レプトン銅貨二枚、すなわちクアドランスを入れた。43 イエスは、弟子たちを呼び寄せて言われた。「はっきり言うておく。この貧しいやもめは、賽銭箱に入れている人の中で、だれよりもたくさん入れた。44 皆は有り余る中から入れたが、この人は、乏しい中から自分の持っている物をすべて、生活費を全部入れたからである。」

祈 禱

説 教「自分が変わらなければ」

中村吉基牧師

祈 禱

讃美歌 512(主よ、献げます)

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあがめさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

中村吉基牧師

後 奏

報 告